

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	台湾
滞在都市 (☆)	台北
留学先大学等名 (☆)	国立台湾大学
留学先での所属学部/研究科 (☆)	管理学部情報管理学科
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2018年 9月 3日
渡航先からの出国日 (☆)	2019年 6月 15日
渡航先国での滞在期間 (☆)	10ヶ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Neural marketing and research1semester100mins * 17weeksLecture, Group presentation2credits
履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Marketing theory and Innovation1semester150mins * 17weeksLecture, Group presentation3credits
履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Operation Management1semester150mins * 17weeksLecture, Group project and presentation3credits
履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	Entrepreneurship and Inovation1semester150mins * 17weeksLecture, Group presentation3credits
履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	General Chinese1-2 semesters300mins * 17weeksLecture, Presentation(3credits)
履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	
履修科目名称履修期間授業時間 (○分×△回) 授業形態 (講義・セミナー) 取得単位数	

履修科目名称履修期間授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー）取得単位数	
履修科目名称履修期間授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー）取得単位数	
履修科目名称履修期間授業時間（○分×△回） 授業形態（講義・セミナー）取得単位数	
留学生（日本人）の割合	1%以下
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	Groupwork が大体 50%、課題は 20%、テスト 20%。
履修科目の制限等（あれば）	MBA の授業は取れないものがあります
（英語圏以外の場合）英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	英語の授業は正直充実していない。専門的な知識はあまり学べない。
語学に関するサポート(特別授業、チューター、イッセイライティングに関するサポート等)	無
授業内での留学生に対するサポート等	中国語での授業は若干のサポートはあるが、基本にはほぼない。中国語ができないと教授から冷たくあしらわれる（中国語開講）。
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	食堂はなかなか。安いが味は普通。
図書館について	とても広い。
保健センター等の有無	
クラブ・サークル等について	充実している。
留学生へのサポート	
オリエンテーション等学校主催の行事について	
現地の学生との交流について	中国語を学びに来る学生は、かなり交流があるが、英語圏の友人ベースの生活だとそう多くはない。
他の留学生との交流について	日本人コミュニティ（台湾人を含む）に属するか、外国人留学生コミュニティーに属するかのこと

	択。後者を選べば毎日交流するというイメージ。自分は後者だった。
学外での活動について（地域コミュニティ活動等）	
長期休暇中の過ごし方	
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	居留ビザ
ビザの取得手続きについて（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	出国前に大阪の台湾領事局で申請。1週間かからず発行された。
利用航空会社	EVA
入国の際の現地空港名	TaoYuan Airport
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	空港 MRT という直通の電車が台北まで出ている。（150ntd/way）
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	パスポートのみ（？）、居留証を持っていれば待たなくて済む（別ゲートから入れる）
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無
奨学金名	Ecobase
奨学金月額受給額（円）	60000jpy
入国時に用意した金額	
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	ほぼ使えない、街のモールのみ
留学中に利用した銀行名	
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	していない
デビットカードの使用について	デビットカードのキャッシングで送金
日本からの送金方法について	
1ヶ月の生活費（目安）	食費 35000、生活用品 5000、娯楽費 10000

その他	
-----	--

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類(学生寮(一人部屋・二人部屋)・アパート等)	一人部屋
家賃	7400ntd
住居を探した方法・時期	7月ごろ、NTUからのメールで
荷物の運搬方法(ハンドキャリア、国際宅配便(会社名、プランも)等)	キャリア
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事(自炊・食事つき学生寮等)	夜市かローカルな店
1ヶ月の食費	35000
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	20GB(4ヶ月の制限)で1200ntd(中華電信)
インターネットについて(Wi-Fi環境等)	寮は有線のWifiつき(月5GB制限)
コンピュータについて	
郵便について	大学内にある
交通機関について	安い30ntd/wayぐらい
治安について	日本より良い
保険について	
医療機関・薬について	
気候と服装について	4月ぐらいから半袖、11月ぐらいまで
普段の買い物について	
娯楽・行事について	
日本語の使用について	日本人と喋る時のみ
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	たこ足配線
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	履修計画、就職活動情報の収集

その他	
-----	--

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	インターン（8月）
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターシップ等）	海外学生用の就職イベント（キャリアフォーラム各種、国際派マイナビ、逆求人）

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	英語 IELTS の受験
留学中の学習方法、工夫したこと等	英語を使うことに専念した
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	会話力が格段に伸びた。英語のスコアと留学生と心を通わせられる英語力は全く違う

8. その他

留学して得られたこと	国際人としての視座
留学中に困ったこと	就職活動、遠距離恋愛
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

9. 留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

大学初期の頃から、留学生とよく遊ぶ生活を送っていました。その中で私は、「現地学生である限り絶対共有できない彼らの繋がり」があることを感じました。「留学生」として生活することでしか体験できない価値観がある。そう強く感じて留学を決意しました。台湾という国の選択は、私にとってあくまでも手段でした。現地では中国語を主に学んだのではなく、「留学生」としてヨーロッパからきた「留学生」と、英語で開講される授業ばかりを受講し、日常生活は彼らといることがほとんどだったように思います。台湾を選んだのは、経済的な理由からです。そんな感じで、ヨーロッパ圏の留学のような生活を送りました。もともと、英語圏の常識やカルチャーへの精通度、日常英会話には自信があったものの、やはり映画の話題一つにしても、音楽の話題一つにしても、スラングな笑いの取り方一つにしても、やはり未熟な部

分が多かったなと思います。留学生と口論になってうまく丸め込めなかった時は、やっぱり悔しかったですね。「日本人」として手加減される存在にならず、堂々と「一員」として生活できるか、が大切かなって思います。皆さんも、「彼ら」の懐まで潜り込んでください。授業について。プレゼンテーションやグループワークへの耐性はあまりなかったですが、「彼ら」と仲が良かったので、困ることは少なかったです。また、「授業でどんな知識を得たか」よりも、「誰と、どんな姿勢で受けるか」を学ぶことが大事だと感じました。留学前は、「どんな授業を取るか」といった部分に割く時間が多くなって来ると思います。もちろん、どの科目にしても、英語・中国語「で」学ぶといった体験自体が、新鮮なものになると思います。ですが、できるだけ「グループワーク」から逃げないで、挑戦してみしてほしい。授業で「留学生」を知っていく、「人と関わること」が留学の醍醐味です。

最後に、台湾という国について。日本人としての皆さんには二つの選択肢があります。日本人・台湾人のコミュニティに属するか、英語圏のコミュニティに属するか、です。「英語カルチャーに寛容な中華圏」という特性上、留学生生活はこの二種類に分断されます。中国語を本気で学ぶなら前者になるし、「留学生」を本気で知りたいなら後者になると思います、私は後者でした。台湾という国は、中国語を学ぶのには完璧な環境ではありますが、だからと言って中国語を学ぶだけが台湾留学ではありません。私は、留学したこと、留学先に台湾を選んだこと、留学先でヨーロッパ留学のような生活を送ったこと。どれにも後悔はないです。ぜひ皆さんの目的にあった留学にしてほしいと思います。